

訪問 診療

訪問診療は、通院が困難な方の自宅に、医師が訪問し、定期的かつ計画的に診察を行うものです。在宅医療という言葉が聞かれることも多くなっているのではないのでしょうか。体調がすぐれない時だけ、自宅に診察に来てもらう往診とは違います。



VISITING
CLINIC

訪問診療を知っていますか？

訪問診療とは定期的に医師が伺い、計画的な診療を受けて頂く事です

患者さんが生活している場所(自宅・親戚の家・グループホームなどの施設)に定期的に訪問し、計画的に健康の管理をうけていただくものです。体調不良時や緊急時には、必要に応じて往診や入院先の手配など行います。定期的な訪問診療と24時間体制で臨時往診や電話対応を行っています。



今日は先生が
来る日だ！

訪問診療

訪問診療の適応になる方

継続的に診療が必要な一人での外来の通院が困難な患者さんで、生活している場所での診療を希望される方。例えば

- がん、難病、重度障害、認知症、寝たきりの方
- 自宅で過ごしたい方 など

訪問診療で提供する医療

- 点滴、注射
- 経管栄養・留置カテーテルの管理・交換
- 医療機器(在宅酸素、人工呼吸器)の管理
- 褥瘡(床ずれ)の処置・治療
- がんなどの病気に対する緩和ケア など

訪問診療の利用相談を受け付けています

訪問診療の実施の有無、対応状況などは、各医療機関によって違います。また、訪問診療には、これまでの治療状況や生活状況などの情報が必要となるため、まずはかかりつけの先生や、入院先の病院、担当のケアマネジャー、訪問診療を行っている医療機関等にご相談ください。

あさのクリニックでは相談員が訪問診療の相談対応を行っています。内容にあわせて、訪問診療の仕組みや必要な事を説明をしています。

あさクリ コラム
COLUMN
「プライマリ・ケア」
by 院長 浅野

訪問診療は、住み慣れた地域で生活を継続する為の選択肢のひとつです。他には地域の医療・介護関係事業者などの支援を活用しながら、地域での生活を継続されている方もいます。6月号コラムでは「防災の始まりはご近所付き合いから」と紹介しました。病気などの理由で外出が難しくなっても、これまでのご近所付き合いを続ける「ご縁」をつないでおくことは、防災だけでなく、日常生活においても必要な事ではないかと思います。